

各 位

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 上場会社名   | 株式会社 成学社        |
| 代表者     | 代表取締役社長 太田 明弘   |
| (コード番号) | 2179)           |
| 問合せ先責任者 | 取締役経営企画部長 藤田 正人 |
| (TEL)   | 06-6373-1595)   |

## 平成26年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成25年5月14日に公表いたしました平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

|                                   | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|--------|-------------|
|                                   | 百万円   | 百万円   | 百万円   | 百万円    | 円 銭         |
| 前回発表予想(A)                         | 4,633 | 100   | 103   | 30     | 5.15        |
| 今回修正予想(B)                         | 4,596 | 34    | 41    | 2      | 0.40        |
| 増減額(B-A)                          | △36   | △65   | △62   | △27    |             |
| 増減率(%)                            | △0.8  | △65.2 | △59.7 | △92.3  |             |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成25年3月期第2四半期) | 4,440 | 216   | 209   | 95     | 16.27       |

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

|                                   | 売上高   | 経常利益  | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|-------|--------|-------------|
|                                   | 百万円   | 百万円   | 百万円    | 円 銭         |
| 前回発表予想(A)                         | 4,318 | 92    | 41     | 7.09        |
| 今回修正予想(B)                         | 4,292 | 56    | 6      | 1.04        |
| 増減額(B-A)                          | △25   | △36   | △35    |             |
| 増減率(%)                            | △0.6  | △39.3 | △85.3  |             |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成25年3月期第2四半期) | 4,127 | 180   | 86     | 14.78       |

修正の理由

<連結業績>

当第2四半期累計期間の売上高は4,596百万円となり、当初予想から36百万円下回ることとなりました。これは、クラス指導部門の塾生数が計画に及ばなかったことが主な要因であります。第一の塾生募集期である新年度および第二の塾生募集期である夏期特別授業ともに、芳しい結果が得られず、当初予想の塾生数には至りませんでした。個別指導部門は売上高および塾生数ともにほぼ当初予想通りに推移いたしました。クラス指導部門の塾生数が当初予想に及ばなかったことで連結売上高も当初予想を下回ることとなりました。

営業利益は34百万円、経常利益は41百万円、四半期純利益は2百万円となり、それぞれ当初予想から、65百万円、62百万円、27百万円下回ることとなりました。

これは、事業拡大にむけた人員の増加および当初予想を上回る広告宣伝活動を行ったことで費用が増加したことが主な要因であります。また、比較的固定費の割合の高いクラス指導部門の売上が当初予想を下回ったことで利益率を押し下げた要因となりました。

<個別業績>

個別業績につきましても、連結と同様の理由により、売上高ならびに利益ともに当初予想を下回ることとなりました。

なお、平成26年3月期の通期業績予想につきましては、売上高は計画の範囲内で推移していること、下期に利益が集中する傾向にあることから、連結および個別ともに現時点での変更はありません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上